

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 28 週  
(7/11~7/17)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

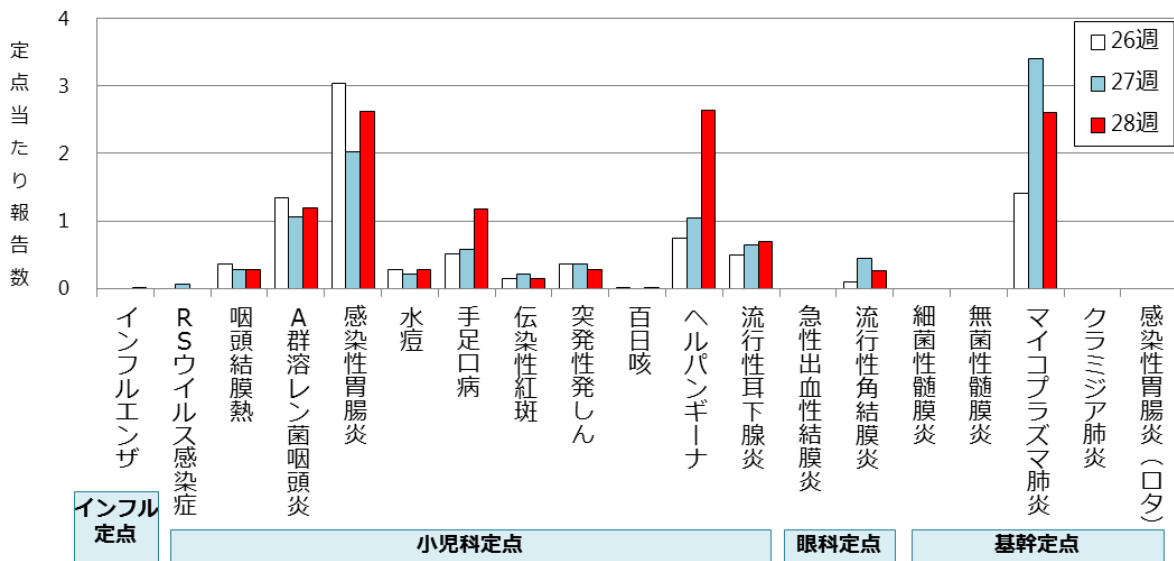
- ◇ ヘルパンギーナの患者数が急増しています。 →トピックス
- ◇ 手足口病、流行性耳下腺炎も増加傾向ですので、今後の動向に注意が必要です。

## ■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	ヘルパンギーナ	岐阜（6.10）
注意報レベル	なし	—

### ● 直近 3 週の比較



## ■ 全数把握対象疾患

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 12 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：レジオネラ症 3 例
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例

### ● 2016 年累計

1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	241 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14 例
4 類感染症	A 型肝炎	1 例
	つつが虫病	1 例
	デング熱	2 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	4 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例
	後天性免疫不全症候群	16 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	マラリア	1 例
レジオネラ症	20 例	
侵襲性髄膜炎球菌感染症	3 例	
侵襲性肺炎球菌感染症	33 例	
水痘（入院例に限る）	5 例	
梅毒	15 例	
播種性クリプトコックス症	3 例	
風しん	2 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■トピックス

### 《ヘルパンギーナ》

#### ◆ 県内で患者数が急増しています

県内53の定点医療機関からのヘルパンギーナの患者報告数は、第25週以降増加しており、第28週には定点当たり2.64人と急増しています。

保健所別では、岐阜保健所(6.10人)、関保健所(4.40人)、岐阜市保健所(4.00人)で多くの患者が報告されています。

また、患者の年齢は、1～3歳が多くなっています。

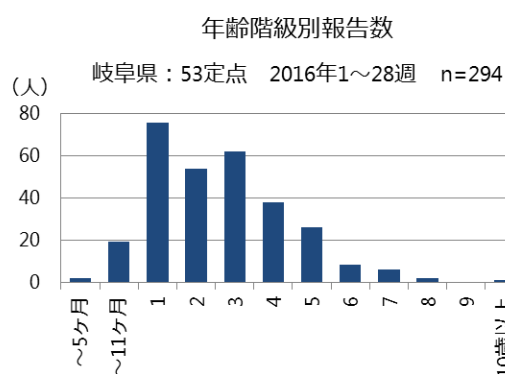
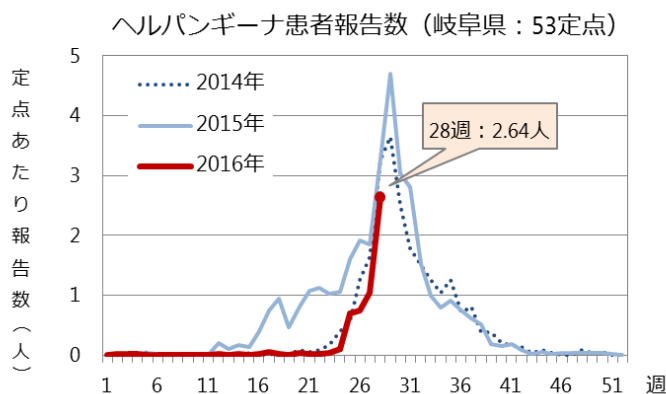
昨年、一昨年とともに第29週にピークを迎えています。今後、さらなる増加も予想されますので、動向に注意が必要です。

#### ◆ 手洗いの励行を

ヘルパンギーナの原因であるエンテロウイルスは、患者の鼻汁や便に排出され、飛沫感染や接触感染により周囲へ感染します。

予防には、患者との密接な接触を避け、手洗いの励行、おむつなど汚物の適切な取扱いに努めることなど一般的な対策が重要です。

エンテロウイルスの場合、症状が治まった後も2～4週間の長期にわたり便中にウイルスが排泄されるため、特に患者や回復者に対して用便後の手洗いを徹底させることが重要です。



#### ★ヘルパンギーナとは

エンテロウイルスの感染による小児の夏かぜの代表的な疾患で、口内の水疱性発疹と発熱を特徴とします。基本的には予後良好な疾患ですが、まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎を合併することがあります。

#### ★感染症法における取扱い

ヘルパンギーナは、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所(岐阜県53か所)の小児科定点から毎週報告がなされています。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>